

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年10月27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203492		
法人名	アイエルエス株式会社		
事業所名	グループホーム太陽		
所在地	広島市佐伯区利松三丁目25-42 (電話) 082-929-5533		
自己評価作成日	平成29年10月4日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3470203492-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年10月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

個別ケアを基本とし、家庭的な雰囲気を演出出来る様工夫しています。又医療連携を充実し、御本人様、ご家族様に安心して頂ける様努力しています。終身良い関係で、関わりを持たせて頂ける様心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

目前に八幡川を望み、のどかな環境に恵まれたグループホーム太陽は、以前の民家改造型から2ユニットのモダンな事業所へと同地区内に移転新設し二年になる。利用者にとって「自分のペースで自分らしく生活するための光」でありたいと職員間で意識統一を図り、馴染み深いこの地で長年培った地域との絆を大切にしつつ穏やかな生活を築いている。地域貢献も含めた健康体操などの催しを一階リビングで開催し共助の関係性を更に深め、利用者の尊厳を大切にした生活のパートナーとしての支援となるよう職員のスキルアップやケアの質の向上に努め日々尽力している事業所である。

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念は所内に掲示してある。申し送り時に支援注意事項と共に、理念の共有をしている。	事業所理念を念頭に置き、利用者の尊厳を大切に生活のパートナーとして支援するよう、日々の申し送り時に、業務報告・意見交換と共に職員間で意識統一を図っている。フロア目標や個人目標を定めることも視野に入れている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎週1回（金曜日）に地域の方と一緒に100歳体操を行っている。（場所提供）お隣の施設（障害者施設の喫茶コーナー）へ訪問している。	毎週一階リビングで、地域交流健康体操（100歳体操）を開催し、近隣の人達も気軽に参加できるよう地域ぐるみで健康寿命を延ばす予防対策の取り組みを重ねている。年2回、幼稚園児が訪れ一緒に歌を歌うほか、ボランティアの来訪も増えつつあり交流の輪を広げている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	イベント（食事作り、行事等）のブログ更新。地域包括支援センターの方や、民生委員の方とお話しさせて頂いています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回会議を実施し、職員及び参加者で催しの企画についての反省会なども行っている。	隔月開催の当会議には利用者・地域住民代表者・行政関係者などの参加を得て、近況報告や意見交換を行っている。家族ほかの参加が乏しい事が今後の課題として検討される点である。今後はテーマを決めて参加しやすい会議内容となるよう目指している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	福祉関係は、特に容体報告等密に連携を取っている。	日頃から相談や手続きなどで密に連携を取り、研修案内の情報や地域のイベントなど交流の機会の把握に努めている。研修や勉強会など事業所を活用した催しを通じ協力関係を深めようとしている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止のマニュアルを作成し、防止に向けた規定を策定している。玄関、台所等施錠は、夜だけに行っている。</p>	<p>事業所内研修はもとより日々のケアの中で職員間の啓発を促し、身体拘束をしない取り組みに努めている。玄関は日中施錠せず、チャイムで確認するシステムを取り、安全でなるべく制約を加えない支援を心がけている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止のマニュアルを作成し、周知に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人の申し込みをしています。(かけはし)社会福祉協議会利用。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際十分に時間を取り、不安や疑問が残らない様説明し、納得して頂くから契約をして頂きます。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>契約書に苦情申し立てのできる窓口や、申し立てによって、利用者にも不利益な扱いを行わない事を明記している。</p>	<p>主に、面会時やイベント時に意見・要望を伺い集約検討し、改善につなげている。家族も参加できるような時間設定でレクリエーションを企画するなど、よりよい関係性の構築に努める姿勢がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝の申し送りや、個々の話し合いで、意見を聞いている。</p>	<p>ミーティングや日々のケアの中で、気付きや伝達事項を話し合い、ケアサービスの充実を図っている。月毎の外出レクや料理レクなどに職員の意見を取り入れたり、備品の調達など働きやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、勤務表等により、勤務状況を把握し、管理者の報告により、職場の人間関係や、やりがいを把握している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員の教育計画書を作成し、管理者や職員に社外の研修を受講する機会を与えている。社内の研修も随時実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者のネットワークに参加しており、会議、勉強会、交流会等に参加している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>担当のケースワーカーやケアマネジャー、家族と十分に情報交換し、周囲の環境をよく検討し、聴く機会を設け努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>担当のケースワーカーやケアマネジャー、家族と十分に情報交換し、周囲の環境をよく検討し、聴く機会を設け努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族と十分に情報交換し、本人と周囲の環境をよく検討し、見極める事に努力している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家事等、日常生活上の作業を通じ、喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支え合う関係を築く様努力している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時間を決めずに、来たい時に、気楽に来所して頂き、行事等参加して頂ける様声掛けをしたり、本人を共に支えている様努力している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>希望に沿って、電話手紙等できる様に支援しています。何方でもお部屋に泊まれる様に支援しています。</p>	<p>訪れやすい雰囲気づくりに心がけ、これまで大切にしてきた関係性を保ち続けられるよう配慮している。旧知の人達との再会や懐かしい場所を訪れる工夫など個別ケアに活かすよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握する様に努めており、共同の作業等を通じて支え合う様になっている。又必要に応じて席替えを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	希望により、相談等支援できる様に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のコミュニケーションを通じてしっかり、傾聴し、本人の希望、意向を把握する様に努めている。	日常生活の中で、さりげない会話やボディメッセージから思いや意向を汲み取り、家族からの聞き取りも含めケア記録表に記し、アセスメントにつなげ個別ケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	関係者から、可能な限りの情報をもらっている。又本人からも引き出せる様努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の記録表に記録し、スタッフ間の申し送り等で、現状の様子を把握する様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族の意見を尊重し、半年に1回の介護計画を作成している。</p>	<p>職員による日々の記録をもとに、利用者・家族・医療関係者の意見を加味しながらニーズを見極め、役割分担や生活リハビリにつながるプランづくりに取り組んでいる。半年毎に介護計画の見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録を工夫し、情報を共有し、その都度計画を見直している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度本人のニーズに合わせて支援を工夫する様に努力している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>警察、消防等の機関とも協力し、ボランティアの方の訪問も増えてきている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医と常に連携をとり、適切な医療を受けられる様にしている。</p>	<p>協力医や訪問看護師と連携し、利用者の健康管理に努め、緊急時には速やかに対応できる体制を築いている。必要があれば通院同行支援を行い、診察結果などの情報は家族と共有している。服薬管理・感染症予防対策にも留意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護ステーションと契約し、訪問時間外でも常に相談連絡し、適切な看護が出来る様にしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、主治医、相談員と情報交換をしっかりと、連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用時、ご家族様としっかり話し合い、終末期に向けての方向性をしっかりと、共有している。	ターミナルケアに関する指針があり、職員間で研修も含め意識を高めている。重度化した場合には家族・関係者とその都度話し合い、各々の思いに寄り添った支援に取り組んでいる。医療関係者との連携やバックアップ体制も整っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時のマニュアルを作成して周知に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	資格を持った防火管理者を配置し、消防署に消防計画の届け出をしている。スタッフへの周知にも努めている。	年二回、消防署員立ち会いのもと防災避難訓練を実施しアドバイスを受け、避難経路などの確認をしている。地域と連携し災害時の対策や協力体制を築いている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	管理者が全職員の接遇を観察し、適時、注意喚起している。	利用者を人生の先輩として敬い、節度のある接し方や声掛けに留意している。トイレ誘導の際は小声で、居室に入室時にはノックするなどプライバシーに関する配慮をしている。個人情報管理にも努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	希望を聞いたり、引き出せる様コミュニケーションを図っている。意見箱の設置をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や昼寝の時間等、希望や日々の体調に応じて個々に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	必要に応じて一緒に買い物に出かけて、ご本に選んで頂いたり、理美容についても自由に選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	毎週利用者様と一緒に食材を切り、食事作りをしている。おやつも一緒に作って食べて頂いている。	食材・メニューについては外部委託であるが、職員と共に和やかにふれあいながら、週に2回の昼食を食事レクとして買い物や調理の下ごしらえをしたり、おやつ作りも楽しんでいる。回転寿司などの外食や、クリスマスにはケーキを手作りして季節感を味わいながら一緒に楽しめる工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分量を記録し、栄養バランスに気を使っている。個々にキザミ、ミキサーで対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアをしている。ご自分でして頂き、足りない所をスタッフが介助している。毎週訪問歯科に来て頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の時間を記録し、パターンや習慣を把握している。又適時の誘導声掛けを行っている。</p>	<p>排泄記録を基に、パターンやタイミングを見計らいトイレ誘導している。バイタルチェックも含め体調コントロールに配慮し、自立に向けた支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分をしっかり摂ってもらい、適度に体を動かして頂いて貰ったり予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の時間や曜日は、決まっているが、個人の要望や体調によって、柔軟に対応している。</p>	<p>週に2～3回の入浴を目安に、体調や意向に合わせて柔軟な対応をしている。なるべく自然素材の石鹸を使用し、肌に負担のかからない細やかな支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	睡眠の状況を記録し、必要に応じて医師に相談、指示を貰っています。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬の説明シートを保管し、情報を共有しており、急変時には、医師にすぐ連絡している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	個々にあった、役割や楽しみがあり、継続できる様に支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	買い物外出、散歩、外食など、家族に協力して頂きながら行っている。	普段から近所への散歩・買い物などで気分転換を図っている。西風新都へ梅見に出かけたり、家族のサポートを得ながら様々な外出の機会を設けている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	トラブルを避ける為に少額の現金を預かり本人の希望の物を一緒に買いにしている。金銭管理出来る方は、十分配慮しながら所持して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば、電話、手紙のやり取りが出来る様に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>落ち着いた雰囲気を演出できるように、光量を調整したり、音楽を流したりしている。</p>	<p>新しく機能的な造りの中、落ち着いた色合いのトーンで統一されたリビングには寛げるソファを設置したり、季節の飾りものを壁に展示し、家庭的な雰囲気である。日中は、塗り絵や漢字ドリルなどをリビングで職員と共に行い、活性化につながるレクを積極的に取り入れている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイニングテーブルとは、別にソファを2脚設置し、工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みの家具など、御本人様の思う様に決まりを定めずお持ちして頂いている。</p>	<p>リビングを囲むように各居室があり、すっきりとした設えで個性を活かした空間づくりに努めている。思い出の品々・懐かしい写真などを飾り、落ち着いて過ごせるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご自分のお部屋は、可能な限り、ご自分で、掃除をして頂いたり、ご自分の思い通りにして頂いている。</p>		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム太陽

作成日 平成29年11月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議において参加される方が少ない。	ご家族様・地域の方に来て頂ける様にする。	テーマを決めてご案内を多くの方に出していきたいと思います。	6ヶ月
2	35	防災についてもっと身近な物として認識する。	防災についてスタッフ全員がもっと身近な問題として考えていく。	防災管理者の元避難訓練等実施し、ご利用者様と一緒に考えていく機会を増やす。	6ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。